第10回

食品寄付で「地域のたすけあい」と「家庭の食品ロス削減」！

フードドライブ

にご協力ください！！

「今日食べる物がない」という人が遠い国ではなく、この地域にもたくさんいます。「賞味期限までに食べきれそうにない」「たくさんもらって余っている」など、ご家庭に余剰食品があればぜひメグリアにお持ちください。寄付された食品は社会福祉協議会を通じてこの地域で食料支援を必要とする人にお渡しします。

宅配 3月2日(月)～3月6日(金) の配達時に回収

店舗 3月7日(土) 8日(日) 各店営業時間内

本店・エムパーク店・藤岡店・三好店・若園店・志賀店
朝日店・はなぞの店・うねべ店・井上店・永覚店
各店のサービスカウンター
※本店はおまつり広場特設会場
（15:00以降はサービスカウンターで受付）

寄付いただきたい食品

- ○ 缶詰・瓶詰・レトルト・インスタント食品
- ○ 飲料（ペットボトル・缶飲料など）
- ○ 嗜好品（コーヒー・紅茶・お茶・ジャムなど）
- ○ 乾物（麺類・海苔・お茶漬・ふりかけなど）
- ○ お菓子・粉ミルク
- ○ 調味料（醤油・砂糖・麺つゆ・みそ・食用油など）
- ○ お米
- ○ 麺類（乾麺・袋麺・カップ麺）

3ヶ月以上賞味期限が残っている
常温保存可能で未開封のものに限ります

お受取りできない食品

- ✕ 賞味期限が３ヶ月未満のもの
- ✕ 賞味期限の記載がないもの
- ✕ 開封されているもの
- ✕ 生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）
- ✕ 冷蔵・冷凍食品
- ✕ アルコール飲料（みりん・料理酒除く）

上記食品や食品以外の物品は
お受取できません

“フードドライブ”とは？

ご家庭で余っている
食品を持ち寄り、それを必要
とする人にお届けする
地域のたすけあい活動です。

家庭

↓

メグリアの店舗・宅配

↓

豊田・みよしの
社会福祉協議会

↓

生活困窮者世帯への
緊急支援・こども食堂 など

「食品ロス」はどれくらいあるの？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のこと。
日本では年間に約464万トンも発生しており、そのうちの約半分は家庭から捨てられています。
（事業系231万トン・家庭系233万トン）

国民１人あたりに換算すると、全員が
毎日約お茶碗１杯分の
食料を捨て続けて
いることに
なります

令和５年度食品ロス発生量推計値（農林水産省・環境省 公表）

前回のフードドライブイベント（10月）

宅配 +11店舗

（本店・エムパーク店・藤岡店・三好店・若園店・志賀店・朝日店・はなぞの店・うねべ店・井上店・永覚店）

缶詰やレトルト・インスタント食品、麺類やお米、飲料、調味料、菓子など、たくさんの食品が集まり、地域の社会福祉協議会に寄付させていただきました。

寄付いただいた方 245 名

寄付された食品 1,271 点（約311 kg）

その他にも、お取引先様15社から1,115点の寄付食品をご提供いただきました。

● 提供お取引先様一覧
（順不同、敬称略）

J-オイルミルズ	浜乙女
タマノイ酢	マルコメ
ポッカサッポロ	ニッスイ
マルタイ	デルモンテ
Mizkan	日本食研
キッコーマン食品	白子のり
オタフク	ニコニコのり
ケンミン食品	

豊田市社会福祉協議会では
年間273世帯（420人）の生活困窮者支援。
37団体のこども食堂支援。
また、みよし市社会福祉協議会でも
48団体と生活困窮者支援に寄付食品を
活用させていただきました。

地域の
こども食堂

生活困窮者への
緊急支援

SDGs 未来都市とよた

豊田市はSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた取り組みをリードしていく自治体「SDGs未来都市」として内閣府に選定されました。SDGsの観点からも貧困や食品ロスをなくすためフードドライブを積極的に行っています。

1 貧困をなくそう　3 すべての人に健康と福祉を　8 働きがいも経済成長も　10 人や国の不平等をなくそう　11 住み続けられるまちづくりを　12 つくる責任つかう責任　17 パートナーシップで目標を達成しよう

お問合せ トヨタ生活協同組合 総務人事部 総務・広報・組合員サービス室
受付時間/9:00～17:00（月～金）
TEL/ 0565-28-5011

MEGLIA・豊田市環境部・豊田市社会福祉協議会・みよし市社会福祉協議会